

ソビーゴ、産学連携の「プログラミング教育開発研究会」発足

5月17日 教育ITソリューションEXPOにて、小学校研究授業の指導案公表

■本件の概要

株式会社ワイズインテグレーション（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小林正晴）と株式会社ナチュラルスタイル（本社：福井県福井市、代表：松田優一）の共同事業であるこども向けプログラミング教育プロジェクト「ソビーゴ」は、2017年1月より、産学連携のプロジェクト「プログラミング教育開発研究会」を・帝京大学 教育学部 福島健介教授・八王子市立・町田市立の公立小学校の教諭（有志）と共に発足致しました。



本プロジェクトは、2020年からはじまる小学校でのプログラミング教育必修化に向け、公立小学校の教諭が担当のクラスにて継続的な研究授業を積み重ねることで

- ①学習指導案の開発
 - ②指導学年・教科の適正考察
 - ③評価の観点や評価基準などの策定
- を2017年度中に行うことを目的としています。

■実績

2017年2月～5月に、八王子市立南大沢小学校、町田市立小山中央小学校、八王子市立第六小学校にて、1年生、3年生、4年生、6年生を対象に、計8回の研究授業を実施。

学習指導案は研究会に所属する各教諭が作成し、各クラスの国語科や学級活動の中で行いました。

「ソビーゴ こどもブロックプログラミング」は、その中でプログラミング思考を学ぶ教材として活用されています。

※「ソビーゴ こどもブロックプログラミング」については次頁参照

■発足の背景

2016年4月に発表文部科学省が「2020年に小学校でのプログラミング教育の必修化を検討する」と発表、続いて2017年2月14日に公表された小学校の学習指導要領改訂案にプログラミング教育が盛り込まれました。

その概要として、プログラミング教育は、算数や理科、音楽、総合的な学習の時間などを活用し、プログラミング的な思考を身に付けるとしています。しかしながら、公立小学校の教諭の間では、具体的に何をどのように教えれば良いのか、加えて、プログラミング教育を現存教科の中で実施できるのか、悩んでいるという現状があります。

そのような状況を解決し、小学校でのプログラミング授業を2020年よりスタートするためには、現場の教諭がプログラミング授業の学習指導案を作成し実践することで、ノウハウを積み上げる必要があるという考えの元、今回の研究会の発足に至りました。

■今後の予定

8回の研究授業を終えた5月に、研究会の第一回総括が行われ、今後の活動計画の目標を

- ①初めての先生でもできる！学習指導案の見本（スタンダード）づくり
 - ②生徒が身に付ける力の見える化！プログラミング学習の評価観点・基準の明確化
- の2つに決めました。本プロジェクトの中間報告として、

5月17日に東京ビッグサイトで開催される教育ITソリューションEXPOで無料セミナーを実施します。

プログラミング教育導入に際しての見解、研究授業の事例を発表予定です。

当セミナー参加者には、研究授業で作成した「学習指導案」を配布致します。

《この件に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先》

株式会社ワイズインテグレーション ソビーゴチーム 担当：三池（みいけ）・加藤・宮澤

TEL:03-6864-1163 FAX:03-6864-1140 MAIL:sovigo@wise-int.co.jp

●参考資料

■遊びどころで未来をつくるプログラミング体験「ソビーゴ」について

「小中学校で2020年からプログラミング学習を必修化」の政府方針を受け、株式会社ワイズインテグレーションと株式会社ナチュラルによる共同事業で、こども向けプログラミング教育プロジェクト「ソビーゴ」を2016年夏より始動。「遊びどころで未来をつくるプログラミング体験」というスローガンのもと、教材・カリキュラム開発を行い、積極的に導入を検討されている教育機関へのサポート業務も行っていきます。

「3才からはじめる！」ソビーゴ こどもブロック プログラミング

プログラムにおける複雑なコマンドを覚えることなく、記号化されたコマンドをデザインしたブロックを用いて、視覚的にプログラムを組み上げることができるビジュアルアプリを開発。こどもたちが、楽しく簡単に、遊びながら、自然とプログラミングを学習できる教材です。

最大の特徴は、ダイヤブロック((株)カワダ提供)とビジュアルアプリのデザイン連動。アプリ内のブロックパーツは、実際のダイヤブロックと全く同じ形にデザインされていて、リアルなブロックを用いてプログラムの組立を学習してから、PC/タブレット画面のアプリでプログラミング体験ができるため、教育者には教えやすく、こどもには理解しやすい体験型教材になっています。

■導入実績

2017年2月より、「小学館の幼児教室ドラキッズ」全国約200校に導入。未就学児を対象に、年4回のプログラミング授業を実施。



<教材パッケージ>

- オリジナル ビジュアル プログラミング アプリ
- ダイヤブロック ソビーゴdesign
- ソビーゴくん/ソビーゴちゃん フィギュア
- 教本
- プログラム学習シート



※本製品に含まれるブロックは、プロジェクトに賛同頂きました株式会社カワダのダイヤブロックにプログラムコマンドをデザインしたものを使用しております。
diablock@KAWADA

ソビーゴ公式HP : <http://www.wise-int.co.jp/sovigo/>

■株式会社ワイズインテグレーションについて

株式会社ワイズインテグレーション（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小林 正晴）は、「脳に汗して、この世界を熱くする。」を企業理念に掲げ、売り手、買い手、売り場（買い場）の3つの視点からビジネスを開発するプロモーション領域を専門とした企画会社です。「誰もが自然に心を動かす、遊び心のあるアイデアをモットーに、需要創造型の企画立案・実行を行なっています。

<http://www.wise-int.co.jp/>

■株式会社ナチュラルスタイルについて

システム・ソフトウェア開発、アプリ企画制作を手掛ける中、プログラミング教育事業を積極的に推進。PCN（プログラミングクラブネットワーク）と連動した子供向けプログラミング教材、教本開発、日本全国でプログラミング教室を開催しています。

<http://na-s.jp/>

《この件に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先》

株式会社ワイズインテグレーション ソビーゴチーム 担当:三池(みいけ)・加藤・宮澤

TEL:03-6864-1163 FAX:03-6864-1140 MAIL:sovigo@wise-int.co.jp